

マリンバ と ピアノによる

MIXMAGIC

ミックスマジックコンサート Vol. 1

マリンバ 明瀬 由武

ピアノ 高瀬 奈美

2009年12月5日(土) 2:00PM (開場1:30PM)

国際文化会館 岩崎小弥太記念ホール

主催：久守文化基金

✧ ミックスマジックコンサート・・・ ✧

マリンバとピアノ。どちらも鍵盤を叩いて音を鳴らす楽器。

一見ぜんぜん似ていないけれど、よく似ている楽器・・・。

マリンバは木の響きをパイプがひろげ、ピアノは金属ワイヤーの響きを木の響板がひろげる。

あべこべのようで、実は同じよう・・・。

あまりに、その二つの楽器は、同じような素材を使って出来ているので、時々似通った音を出してお互いを邪魔してしまう。なかなか合わせるのが難しい楽器同士でもあります。

でも、それが上手くいったときには、魔法の時が訪れます。

作曲家、編曲者、演奏者、それぞれの個性がミックスされ新しく生まれる時間を、聴きに来て下さった皆さんと共に楽しみたい・・・。

そんな想いからミックスマジックコンサートを始めました。

今日は、250年の時を隔てて、新しい音楽のために闘い一生を捧げた二人の作曲家

J.S.バッハ（1685～1750）A.ピアソラ（1921～1992）の作品と、新しい生命の誕生を祝うクリスマスの喜びを、心を込めて演奏したいと思います。

どうぞ、魔法の時をお楽しみください。

✧ 二人の編曲者のこと

織田英子さんとは大学が同じでしたし、ご主人もトランペット奏者ということで、特に管楽器科と私がいました打楽器科は一緒になることが多く、その縁もあり家族ぐるみですとお付き合いしてきました。もう30年になります。

彼女の一番の作品はなんと言っても管楽器のための作品群ですが、小品をはじめマリンバのオリジナル作品など、たくさんの曲を書いていただきました。特にクリスマスシリーズの曲は多くて、1998年と2007年にCDとしてリリースしました。

野田雅巳さんはNHK・FMの音楽も担当しています。京都の方で、大学も京都でしたので、私とは接点はありませんでした。1998年にマリンバ奏者通崎睦美さんのCDを聴いて、演奏もすることながら、その編曲の斬新さに私が惚れ込んでしまったのが始まりです。その後、演奏会前の練習に立ち会っていただいたり、編曲をお願いするようになりました。まじめでユニークな方です。一切の無駄を省いて真髄だけの音を、という感じで、演奏する側も身の引き締まる思いです。

Ⅲ 第 1 部

♪ プレリュード

バイオリンのために書かれたパルティータ（第 3 番 BWV1006）の最初の曲です。20 世紀のバイオリンの名手、フリッツ・クライスラー（1875～1962）によって、ピアノパートが付けられ、オープニングにふさわしい、より華やかな一曲となっています。

♪ 主よ人の望みの喜びよ

教会カンタータ BWV147 の終曲。管弦楽と合唱により、「イエスは変わりなき喜び、我が心を慰めうるおす生命の君…」と歌われます。

♪ ソナタ 第 1 番 ト短調 BWV1001

バイオリンソロのために書かれた 6 つのソナタ（パルティータ）の 1 曲目。バッハ自身がリュートなど他の楽器のために編曲しています。

♪ 歌と踊り 第 3 番

フェデリコ・モンボウ(1893～1987 スペイン バルセロナ)は詩的で繊細なピアノ曲を多く書いた作曲家です。14 曲の「歌と踊り」を作っていますが、1926 年に作曲されたこの第 3 番は、カタルーニャ地方のクリスマス曲、子守歌として知られる「聖母の御子」と民族舞踊「サルダーナ」(モンボウのオリジナル)の二つの部分から出来ています。

♪ 鳥の歌（カタルーニャ地方のクリスマス曲）

イエスの誕生を喜び、鳥たちが歌い、平和を願う曲です。1971 年にチェリスト、パブロ・カザルスが国連で平和へのメッセージとしてこの曲を演奏し、広く知られるようになりました。

♪ キャンドル灯して

暖かな部屋でキャンドルを灯してほほ笑む家族の姿が目につかぶ楽しい雰囲気のもので、2001 年に初演しました。

♪ グローリア

澄みわたった冬の夜空、人々の祈り、遠くから教会の鐘の音…敬虔で厳かな曲です。1996 年に初演しました。

Ⅲ 第 2 部

♪ フェノスアイレスの冬

凍てつく冬の空気の中で立ち止まり、過去を振り返る、また来る春への憧れ、そして希望へと変化していきます。

♪ フェノスアイレスの春

あらゆるものが目覚め動き出す春。バッハを思わせるフーガで始まり、新しい世界への挑戦を表現している作品です。「フェノスアイレスの冬、春」共に 1969 年冬、ピアソラ五重奏団のリサイタルで初演されました。

♪ バルダリート

バイオリニスト、エルビーノ・バルダロへの鎮魂歌。親しい友への愛情と思いやりに溢れた作品です。

♪ オブリビオン

オブリビオンとはピアソラの造語で「忘却」という意味です。イタリア映画「エンリコ四世」で使われた曲で、歌手ミルバと共演したステージでもよく取り上げられました。

♪ 天使の死

ピアソラの「天使」シリーズのひとつ。彼のイメージを強烈に表した作品です。

♪ リベルタンゴ

libertad(自由)と tango(タンゴ)の造語。日本ではサントリーの CM で使われ、ピアソラの名を一躍有名にした曲です。

♪ フェノスアイレスの夏

むし暑い夏のエネルギーに圧倒され、現実と幻想が混じり合う曲です。1965 年に劇音楽として発表されました。

♪ フェノスアイレスの秋

刺激的な和音で始まり、色濃く、そしてロマンチックに秋を表現しています。1969 年にフェノスアイレスのライブハウス「ミケランジェロ」で初演されました。

♪ 天使の花束

晴れやかなファンファーレと共に新しい生命の誕生を歌うメロディーが聞こえてきます。1998 年に私たちの 1 枚目の CD「マリンバの贈り物～クリスマスの日～」のために書かれました。今日のプログラムの締めくくりにふさわしい、感謝に溢れた曲となっています。